

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2020年 2月 8日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」新船橋校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	法令に順守しており、1時間に3名までの受け入れでブースが3つしっかりと分けられています。	
	②	職員の配置数は適切である	6	0	法令順守し、指導員の加配体制が整えられています。 （法令で必要とされる配置数+1名） 同じ指導員が続くこともなく、緊急時に関しても必ず誰かが居るのは安心できます。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	0	支援スペースには数字や絵などを用い明確化し、利用されている方々がわかりやすく使用できるよう工夫されています。 空間を仕切ることにより、集中力を高めやすい環境となっています。 玄関に段差はあるが、重度のお子さんがいない為、問題ないと感じます。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	0	日々の業務の中で、清掃時間を設けており、清潔な空間を心掛けています。 気候に合わせてエアコンや空気清浄機も使用しています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6	0	定期的に会議を行い振り返ることで、適切な目標を設定することが出来ています。	今後はPDCAサイクルで様々なことに取り組んでいければ良いかと思います。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	年に一度実施する保護者からの事業所評価をもとに、頂いたご意見に対し事業所内で話し合い、出来るところから改善に向けて努めています。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	評価の集計結果をホームページに掲載すると同時に、支援スペースにもファイリングしたものを用意し、保護者がいつでも閲覧できるようにしています。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	3	書式を伴うしっかりとしたものは行っていません。	今年度より療育支援課による巡回訪問にて保育士資格を有する方からのご意見を頂戴し、今後のサービス提供の改善へと繋げていきたいと思っています。

適切な支援の提供	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	自教室による事業所内研修、他教室との連携による事例検討会、発達支援研究所によるウェビナー研修など定期的実施しています。 県・市主催の研修に参加することで個々のスキルアップ、校舎の支援の質の向上に努めています	
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	1	日々のFBの中で保護者と話すことによってアセスメントはその都度行っていますが記録として保管は出来ていません。	アセスメント（課題を分析するために情報収集を行うこと）、モニタリング（サービスの提供が開始された後に行う現状把握）、それぞれの意味を理解し取り組んでいく必要があります。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	4		聞き取って終わりということが多いため、標準化ツールを利用し定期的に取り組むことが望ましく、対応については職員全員で勉強・確認をする必要があります。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	2	3	「発達支援」では具体的な支援内容（家庭環境・地域における立ち位置を踏まえ、今何をすべきか話し合い、目標を決め内容を設定）を記載しています。	「家族支援」・「地域支援」に関しては、不十分な感じを受けるので、今後は文章表現としてもう少し盛り込んでいくと、ガイドラインに沿った項目を網羅できるのではないかと思います。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	0	指導員によってばらつきが出ないように、支援の度に支援計画を確認し、計画に基づいた支援プログラムを行っています。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1	基本的には一人一人がプログラムを考えていますが、指導員間でしっかりと情報を共有し、支えながら日々支援を行っています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	同じ指導員が続くことが無いよう調整した上で、以前の支援記録を確認し継続支援の下実施しているプログラム以外は内容が被らないよう配慮しています。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	1	5	個別支援に特化しており集団活動の機会を必ず確保できるわけではないため組み合わせた立案は行っていませんが、保護者の希望に含まれることもあるため、時間等を工夫して小集団の時間を設けることもあります。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	毎朝朝礼を行い、前日の引継ぎや当日の注意点、シフト調整などスタッフ全員で共有しています。	

	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0	当日、もしくは翌日に引継ぎや保護者の話、気になったこと、変化などについてスタッフ全員で共有しています。		
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	支援記録は出来る限り当日のうちに記入することとし、日々の支援の記録から指導員同士で改善点等を共有しています。		
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直し必要性を判断している	6	0	利用児童に対し少なくとも半年に一度は計画の見直しを行う為、毎週モニタリングの時間を確保し支援方針の見直し・振り返りを行っています。		
	関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	2	相談員からの呼びかけに対し、管理者・実際に支援を行っている指導員が参加しています。	
		㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	2	4		現在は行っていませんが、必要に応じて連携していければ良いかと思います。
		㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	1	5		該当児童はいませんが、今後必要に応じて連携していく必要があります。
		㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	5		該当児童はいませんが、今後必要に応じて連携・連絡体制を整えていく必要があります。
		㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	5	保育園の先生から見学の依頼等がある場合には支援を見学してもらい情報共有していますが、相互理解には至っていません。	今後必要に応じて共有できれば良いかと思います。
		㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	5	学校見学会に参加し、校内での様子などを見学させていただきましたが、支援の情報共有の部分までは至っていません。 保護者が間に入り、保護者自らが伝えています。	今後必要に応じて共有できれば良いかと思います。
㉗		他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1	他事業所との意見交換会や交流学習会に参加しとても勉強になりました。		
㉘		保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	6	個別支援の為難しいが利用家族を通して保育園や幼稚園等と関わる機会があります。	今後行っていく必要があると感じます。	
㉙		(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	6		療育児施設会議への参加が現状できていませんが、不定期であっても参加できるよう調整していきたいと思っています。	

保護者への説明責任等	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	支援後のF Bの時間に、支援の様子や最近のお子さんの様子を話し、保護者との情報共有を行っています。	
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	0	6	F Bの時間に困りごとを聞くなどはしているが、保護者への家族支援プログラムは行えていません。	どのようにプログラムを進めていくのか研修の機会など学び機会（会社全体としての取り組み）を探し、スキルアップに繋がってきたいと思います。
	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	面談や契約時に管理者が丁寧に伝えていきます。また、フリースペースに資料集を閲覧できるよう設置しています。	
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	0	モニタリングで話したことを基に支援計画の原案を作成、保護者に意見を求め確認しながら本案を作成、提示し説明を行っています。必要な場合は手直しを行い、承諾を得ています。	
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	F B時に最近困っていることなどを伺い相談に応じています。	研修に参加するなどし、知識を高めより良い助言や支援が出来ればと思います。
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	6	現時点では保護者向けの会などは出来ていません。	小集団イベントなどの際、保護者スペースを確保し交流の場として提供していけたらと思います。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	要望に対して、まずは傾聴し迅速に取り組みめるものから順次取り掛かり対応しています。	今後さらに周知していき、より良い信頼関係が築いていければと思います。
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	2	定期発行はしていませんが、「きらりだより」という会報を発刊し始めました。ホームページの校舎ブログは月1で更新し校舎のイベント情報などを発信しています。	
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意している	6	0	個人情報が記載されているものに関しては鍵付きのロッカーに保管しています。書類などに関しては他利用者の目に触れないよう配慮しています。	
	③⑲	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	目線を合わせる、口元を見せる、紙に書く等、お子さんの状態に合わせて配慮しています。	
④①	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	6	地域に開かれた事業運営は行えていませんが、開校時には外部向け体験会を実施しました。継続的に近隣地域とも繋がれると良いと思いますが難しいと感じます。		

非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	0	マニュアルを研修や毎月の防災訓練で確認し、発生を想定した訓練を実施しています。	保護者向けにフリースペースにマニュアル関連資料を設置していますが、周知が浸透しない為今後は掲示物などで意識を向けて頂くが必要と思います。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	定期的にスタッフだけでなく、お子さん保護者を交えた防災避難訓練を計画、実際に避難先まで移動することで危険個所を把握し、災害時を想定した引き渡し訓練を実施しています。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	0	お子さんの基本情報を一覧表で管理し、定期的に確認をしています。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	4	食べ物の提供は行っていないですが、食べ物に限らずアレルギー全般に関しても一覧表で管理しています。	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	1	ヒヤリハットが起きる度に報告書を作成し、事業所内で改善点を話し合い情報共有しています。自校舎だけでなく他校舎の事例も同様にファイリングし、危機管理意識を高めています。	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	マニュアルを策定しスタッフ間で情報共有しています。事業所内外で虐待についての研修を受ける機会を設けています。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	1	5	身体拘束についての情報共有は出来ていますが、支援計画内に拘束に関する記載は盛り込まれていません。	虐待に関する考え方が厳しくなってきた現在の現在、しっかりと理解をした上で対応することが求められていると感じます。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2020年2月8日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」新船橋校

保護者等数（児童数）：13 回収数：10 割合：76.9%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8	2	0	0	45分座っての活動なら十分だと思う。	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	7	2	0	1	もう少し先生方の声の掛け方や言葉遣いを丁寧にした方が良い。基準値がよくわからない。	支援をさせて頂くという気持ちを忘れずに取り組むよう心掛けていきたいと思います。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7	0	0	3	何をもって適切なのか判断が出来ない為わかりません。	バリアフリー化は出来ていませんが、来校されるお子さん保護者の方々に気持ちよく来て頂けるよう対応いたします。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	9	0	0	1	カビの臭いが少し気になります。活動に合わせた空間にはなっていると思います。	清潔な環境を維持できるよう日々の清掃を心掛けていきたいと思っています。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	9	1	0	0		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5	1	0	4	ガイドラインがどのようなものかわからない。理解していない為すみません。	日常生活の充実につながる活動（発達に応じて必要となる基本的な生活動作）と遊びなどの活動を通しての成功体験の積み重ねに配慮し支援内容を設定しています。家族支援・地域支援に関しては現状不十分であるため、今後は文章表現として支援計画に盛り込んでいきたいと思っています。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9	1	0	0		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	9	1	0	0		
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	1	4	4		必要に応じて検討していきたいと思っています。
保護	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10	0	0	0		

者への説明等	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	6	2	0	2		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	2	1	4	3	ぜひご指導いただきたいです。	事業所内で家族支援プログラムの研修が受けられる機会（会社全体としての取り組み）を模索し、スキルアップに繋げていきたいと思っています。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	10	0	0	0		
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	5	5	0	0	定期的にとはいえませんが、困った時には必ず相談に乗って下さるので助かっています	
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	1	6	2		外部機関のサポートを探するなど、保護者が集まり話をする機会を設けていけたらと思います。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	4	4	0	1		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	7	2	0	0		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	4	4	0	1		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	8	0	0	1		
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	8	0	0	1		
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8	0	0	1		
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	9	0	0	0		
	㉓	事業所の支援に満足しているか	7	1	0	1		引き続き皆さまが満足して頂ける支援を提供できるよう取り組んでまいります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。